様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	専門学校中央メカニック自動車大学校
設置者名	学校法人鈴木学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	自動車整備科	夜・通信	2205 単位時間	160 単位時間	
	国際自動車整備科	夜・通信	860 単位時間	240 単位時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

資料の名称：「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表 入手の方法：学校法人鈴木学園　法人本部に連絡（電話：055-971-1833）

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	専門学校中央メカニック自動車大学校
設置者名	学校法人鈴木学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ： https://suzuki.ac.jp/about/disclosure/

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	労務保険事務組合 理事	2020 年 9 月 21 日～2024 年 9 月 20 日	人事・総務・労務
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校中央メカニック自動車大学校
設置者名	学校法人鈴木学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書（シラバス）を作成し、公表していること。	
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） ・「鈴木学園シラバス作成ガイドライン」に記載すべき項目を規定している。 ・シラバスは学園共通の様式に統一している。 ・シラバスは各学科会議のカリキュラムに基づき担当教員が作成し、学科長が確認している。 ・シラバスは毎年３月末までに作成している。 ・ホームページにシラバスの入手方法と連絡先を公開している。 ・情報公開は６月 30 日までに行っている。	
授業計画書の公表方法	資料の名称：シラバス 入手の方法：学校法人鈴木学園　法人本部に連絡 （電話：055-971-1833）
２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） ・授業、実習、演習、小テスト、課題提出、試験やレポートなどの提出により、シラバスで一般目標や到達目標を定めて評価を行っている。 ・学則や細則等で規定した成績判定の基準により履修認定している。	

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） ・「ＧＰＡ制度に関する規程」と学生向け説明「ＧＰＡ制度について」を定め、ホームページに公開している。 ・ＧＰＡ制度に関する規程に基づき、成績分布の把握を行っている。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページ： https://suzuki.ac.jp/about/disclosure/
４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） ・卒業の認定に関する方針（ディプロマポリシー）は他のポリシーと一緒に３つのポリシーとして策定している。 ・ディプロマポリシーや学生の修得単位数、出席率、成績評価を踏まえ、卒業を認定している。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	ホームページ： https://suzuki.ac.jp/about/disclosure/

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	専門学校中央メカニック自動車大学校
設置者名	学校法人鈴木学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	資料の名称：事業報告書 入手の方法：学校法人鈴木学園 法人本部に連絡（電話：055-971-1833）
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
工業		専門課程	自動車整備科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1273単位時間／単位	424単位時間/単位	124単位時間/単位	866単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			1414単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
100人	73人	20人	4人	2人	6人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 学科授業に付いては、1クラス編成で教科書・オリジナル資料・パワーポイント・ビデオ教材等を使用し教授
成績評価の基準・方法
（概要） 授業、実習、演習、小テスト、課題提出、試験やレポートなどの提出により、シラバスで一般目標や到達目標を定めて行う。 学則や細則等で規定した成績判定の基準により履修認定する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学則・細則・GPA制度に関する規程等により評価する。 卒業の認定に関する方針（ディプロマポリシー）や学生の修得単位数、出席率、成績評価を踏まえ、進級や卒業を認定する。
学修支援等
（概要） 補習、補講、模擬試験、再試験、三者面談、個別相談等

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
21 人 （100%）	0 人 （　　%）	21 人 （　　100%）	0 人 （　　%）
（主な就職、業界等） 自動車ディーラー、建設機械レンタル業、バス会社整備部門等			
（就職指導内容） マナー教育、履歴書の記入方法、業界・個別企業に関する情報提供等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 2 級自動車整備士、危険物乙種第四類、ガス溶接技能講習終了資格 アーク溶接特別教育資格、電気自動車等整備業務特別教育資格、巻上機特別教育資格 損害保険募集人資格、自由研削といし特別教育修了者資格 タイヤ空気充填特別教育資格、中古自動車査定士資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
55 人	1 人	1%
（中途退学の主な理由） 学業不振のため		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学習支援、個別相談、三者面談、内定先企業との面談		

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	専門学校中央メカニック自動車大学校
設置者名	学校法人鈴木学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	資料の名称：事業報告書 入手の方法：学校法人鈴木学園 法人本部に連絡（電話：055-971-1833）
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
工業	専門課程	国際自動車整備科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	485 単位時間／単位	244 単位時間/単位	43 単位時間/単位	250 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			537 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
20 人	19 人	19 人	1 人	2 人	3 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 学科授業に付いては、1 クラス編成で教科書・オリジナル資料・パワーポイント・ビデオ教材等を使用し教授
成績評価の基準・方法
（概要） 授業、実習、演習、小テスト、課題提出、試験やレポートなどの提出により、シラバスで一般目標や到達目標を定めて行う。 学則や細則等で規定した成績判定の基準により履修認定する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学則・細則・GPA 制度に関する規程等により評価する。 卒業の認定に関する方針（ディプロマポリシー）や学生の修得単位数、出席率、成績評価を踏まえ、進級や卒業を認定する。
学修支援等
（概要） 補習、補講、模擬試験、再試験、三者面談、個別相談等

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
17 人 （100%）	0 人 （　0%）	17 人 （100%）	0 人 （　0%）
（主な就職、業界等） 自動車ディーラー、建設機械レンタル業、バス会社整備部門等			
（就職指導内容） マナー教育、履歴書の記入方法、業界・個別企業に関する情報提供等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 2 級自動車整備士、ガス溶接技能講習終了資格 アーク溶接特別教育資格、低圧電気取扱特別教育資格、巻上機特別教育資格 タイヤ空気充填特別教育資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
37 人	1 人	2%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別相談、三者面談		

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
自動車整備科	200,000 円	732,000 円	327,000 円	その他は施設設備費、実習費、保健費、教育充実費
国際自動車整備科	200,000 円	464,000 円	222,980 円	その他は施設設備費、実習費、保健費、教育充実費、留学生補償保険
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://suzuki.ac.jp/about/disclosure/		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
学校関係者評価委員会規定に役割・任期・運営方法などを定めている。 主な評価項目　　：教育理念・目標、学校運営、教育活動、学修成果、学生生活支援、教育環境、学生の受け入れ募集、財務、法令等の遵守 評価委員会の構成：当学校の教職員以外の者で３名以上 （企業関係者、保護者、その他教育に関する有識者） 評価結果活用方法：校長が１ヶ月以内に科会を開催して評価結果の共有と改善策を作成し、設置者に報告する		
学校関係者評価の委員		
所属	所属	所属
22 期生保護者　様	22 期生保護者　様	22 期生保護者　様
静岡県自動車整備振興会副会長　様	静岡県自動車整備振興会副会長様	静岡県自動車整備振興会副会長様
ダイハツ沼津販売㈱ 管理本部総務室様	ダイハツ沼津販売㈱ 管理本部総務室様	ダイハツ沼津販売㈱ 管理本部総務室様
学校関係者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://suzuki.ac.jp/about/disclosure/		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

ｃ）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://suzuki.ac.jp/about/disclosure/

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H122310000517
学校名（○○大学 等）	専門学校中央メカニック自動車大学校
設置者名（学校法人○○学園 等）	学校法人鈴木学園

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		－	－	－
内訳	第Ⅰ区分	－	－	
	第Ⅱ区分	－	－	
	第Ⅲ区分	－	0人	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				－
（備考）				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第１号、第２号、第３号、第４号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の５割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の５割以下）	0人	0人	0人
出席率が５割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
３月以上の停学	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の６割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の６割以下）	0人	0人	0人
ＧＰＡ等が下位４分の１	0人	0人	—
出席率が８割以下その他学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	—
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。